

第24回日本免震構造協会賞 - 2023 -

第24回日本免震構造協会賞は、右の6件に決定した。

表彰制度の目的

免震構造等の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した個人、法人及び団体に対して表彰することにより、免震構造等の技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著な個人に、技術賞は、免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果を上げた個人、法人及び団体に、作品賞は、免震構造等の特質を反映した格別に優れた建築物等の実現に主たる貢献を行った個人、法人及び団体に、業績賞は、免震構造等の特質を反映した、建築物等の優れた設計、改修、保全、維持、復元、困難なプロジェクトの実現等において際立った業績をあげた個人、法人及び団体に、普及賞は、免震建築物・免震啓発活動・免震に係わる装置等により免震構造等の普及に貢献した個人、法人及び団体に贈る。

表 彰

2023年6月13日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

山梨知彦（委員長）

大西宏治 城所竜太 小林恵吾 小林 仁

齊藤大樹 榊間隆之 佐々木大輔

審査経過

本年度は、技術賞1件、作品賞16件、業績賞2件の応募と、功労賞の推薦があった。先ず書類審査を行い、技術賞1件、作品賞9件、業績賞2件へと絞り込んだ。二次審査ではヒアリングもしくは現地審査を行い、技術賞1件、作品賞2件、業績賞2件および推薦があった功労賞1件を決定した。

技術賞として選出された「幅広い建物規模や施工条件に適応可能な大地震対応TMDシステム」は、TMDの多重化により適応できる対象が広く、かつ取り付けが容易で多数の実績を有している点が評価された。

作品賞では、絞り込んだ9作品に対して現地審査を行い投票したところ、過半の票を集めたものが2作品、過半には満たなかったが票を集めたものが3作品となり、票を集められなかった4作品を候補から外した。得票を得た5作品について議論を交わし再度投票を行ったとこ

選考結果

第24回日本免震構造協会賞受賞は下記の6件である。

I 功労賞

- 1) 和田 章

II 技術賞

- 1) 幅広い建物規模や施工条件に適応可能な
大地震対応 TMD システム

鹿島建設株式会社 矢口友貴 中井 武
福田隆介 島田 佑
皆川俊平

III 作品賞

- 1) Port Plus 大林組横浜研修所
株式会社大林組

江村 勝 辻 靖彦
仁木秀巳 百野泰樹
藤原章弘

- 2) 竹中工務店静岡営業所
株式会社竹中工務店

北川昌尚 小川 司
水野皓太 小杉嘉文
伊藤 幸

IV 業績賞

- 1) NTT ドコモ大阪南港ビル

長周期地震動に対する既存免震建物の免震層の改修
株式会社 NTT ドコモ 田淵洋平
株式会社 NTT ファシリティーズ 津崎一潤 谷沢弘容
株式会社大林組 波多野貴壽 坂井利光

- 2) 岡崎信用金庫様資料館・免震レトロフィット

～BIMを活用した普及型ジャッキアップレス免震レトロフィット～
スターツCAM株式会社 中西 力 千田 卓
宮本朋也 村山純一
株式会社ダイナミックデザイン 宮崎光生

(敬称略)

る、2作品は満票となったが、3作品は過半の票を集めるに至らなかった。以上を踏まえ満票の二作品、「Port Plus 大林組横浜研修所」と「竹中工務店静岡営業所」を全会一致で選出した。前者は、国内の高層木造建築の最初期の試みにおいて免振構造が適切に働いている点が評価につながった。後者では、特徴あるアールが付いたスラブと設備計画と免震構造が丁寧に擦りあわされた点が評価された。

業績賞には2件を選定した。1件目は「NTT ドコモ大阪南港ビル 長周期地震動に対する既存免震建物の免震層の改修」で、既存免震ビルを改修し長周期地震動への対応をいち早く図った先駆的な意味が評価された。2件目は「岡崎信用金庫様資料館・免震レトロフィット～BIMを活用した普及型ジャッキアップレス免震レトロフィット～」で、非常に合理的な免震改修事例として評価された。

功労賞には和田章元会長（東京工業大学名誉教授）の推薦があり、全会一致で受賞が認められた。

(山梨 知彦)